

京都市立桃陽総合支援学校

高校生の学びの支援

入院中の学習はどうなる

治療のサイクルで
学習可能な体調の
時は勉強がしたいな

入院している間、
高校の授業が
どんどん進んで
いくのが心配

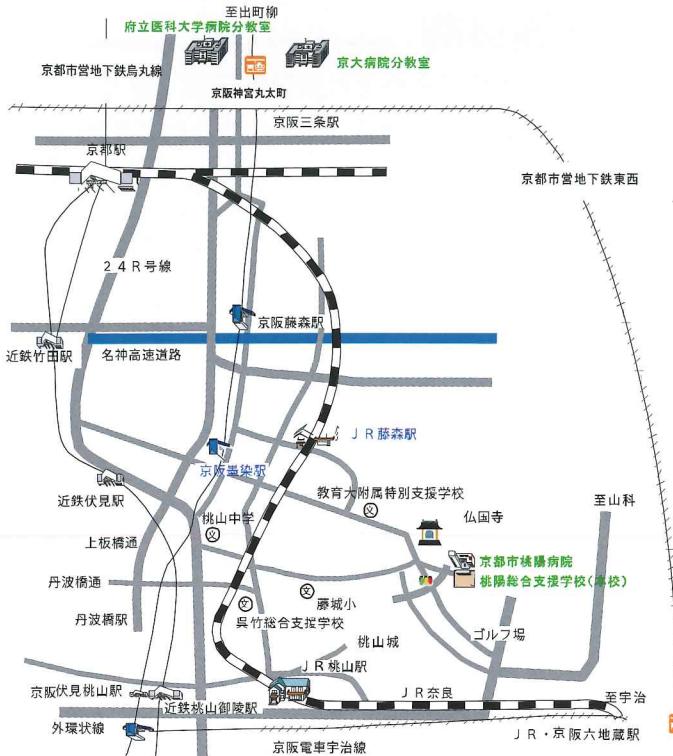
今後の学校生活
はどうなるの？

他に入院して
いる高校生は
いるの？



入院中の高校生は、様々な心配や不安があるなかで治療を続けています。

在籍する高校や病院とも連携しながら、生徒の体調を考慮して、可能な範囲で学習の機会を提供しています。



京都大学医学部附属病院

〒606-8507

京都市左京区聖護院川原町54

京都府立医科大学附属病院

〒602-8566

京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465

※各病院には、桃陽総合支援学校の分教室（小・中学校）があります。入院中の高校生には、学びの場を提供して学習支援をしています。

※この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ！

入院中の高校生への学習の場や機会の提供を各病院と連携して行います



京都大学医学部附属病院



京都府立医科大学附属病院

連絡先

京都市立桃陽総合支援学校

住所：京都市伏見区深草大龜谷岩山町48-1

TEL：(075)641-2634

FAX：(075)641-2648

※文部科学省委託「入院児童生徒等への教育保障体制整備事業」

高校生学習会について

京都大学医学部附属病院、京都府立医科大学附属病院に入院中の高校生を対象にした学習支援を行っています。

入院中の高校生がおられたら、桃陽総合支援学校（本校）までご連絡ください。

京都大学医学部附属病院

學習日：毎週 月・水・金曜日（定例）
時 間：午後 3 時 30 分頃～約 1 時間程度
場 所：外来棟 3 階ホスピタルストリート
小児科当直室

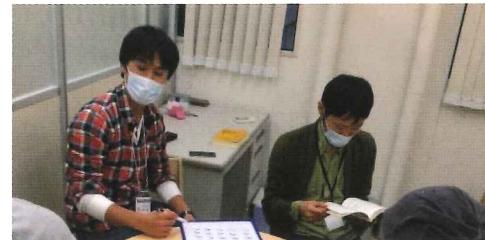
京都府立医科大学附属病院

学習日：毎週 水曜日（定例）
時 間：午後 3 時 30 分頃～約 1 時間程度
場 所：5 階小児医療センター横 分教室

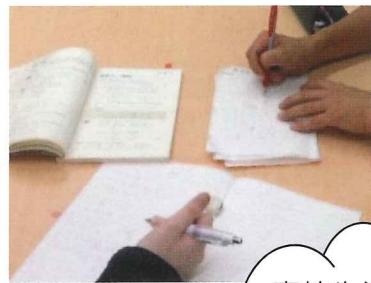
※高校から出されている課題や教科書を中心に
自主学習を進めます。学習曜日、時間について
は今後変更する場合もあります。

学習の例

- ・高校生各自でそれぞれ課題を持ってきて、自主学習をしながら、わからないところを教員や学生ボランティアに質問します。



- ・他の入院中の高校生と同じ教科を勉強し、互いに教え合ったりすることもあります。
 - ・勉強だけではなく、時には学生ボランティアや入院中の高校生同士で情報交換（日常生活や大学生活等）をして交流を深めています。



高校生学習会では、先生や友達とも話せて、楽しい時間が過ごせる。

学習時間の調整

月ごとに学習スケジュールをお渡しして

います。定例の曜日や時間は定めていますが、治療計画や病棟の予定に合わせて可能な範囲で学習する時間を調整することができます。

ICT の活用

① 継続的な学習に向けて

病室から出られない時も、インターネットで学習室と病室を繋いで学習支援を行います。

② 学習意欲を持続するために

有意義な学習時間にするために、事前に参加の可否や学習内容の打ち合わせをします。また、学習会がない日でも画像をシェアすることで質問や情報交換をすることができます。

